

やまぎんの 農業への取組みについて

株式会社 山形銀行 営業支援部

www.yamagatabank.co.jp

 山形銀行

目 次

1. 山形県の農業
 - (1) 農業経営体・農業就業人口数
 - (2) 主要農産物生産量
 - (3) 山形県の農業の課題
2. 農業への取組み
～アグリイノベーションサポート～
 - (1) 販路拡大
 - (2) 人材育成
 - (3) 産学官金連携
 - (4) 6次産業化
 - (5) 事業資金
 - (6) 課題解決 ～農業よろず相談所 in やまがた～

1. 山形県の農業

(1) 農業経営体・農業就業人口数

H27.9.8 山形新聞

(単位：経営体・人)

	平成22年	平成17年
農業経営体	40,831	50,162
農業就業人口	64,335	85,384

※出所：山形県勢要覧（平成27年刊）

就農者280人、最多に

15年度 新規参入増、女性も

県が7日発表した2015年度新規就農者動向調査の結果によると、今年5月までの1年間の就農者は前年度より16人多い280人となり、現在の調査方法となった1985（昭和60）年度以降で最多を更新した。農家出身でない人の新規参入が増え、農家出身者のUターン就農を初めて上回ったほか、女性も74人で全体の約4分の1を占め、最多を更新した。

県は、基盤産業と位置付け、関連施策を拡充してきたことに加え、国の給付金制度、さらに農業法人による事業拡大の動きなどが背景にあると分析している。

就農者の内訳は、経営基盤を持たない、農家出身でない人の新規参入就農が121人（前年度比24人増）、農家出身者で他産業に従事した後Uターン就農した人が115人、新規学卒が44人。

男女別では男性が206人（同1人増）、女性74人（同15人増）で、農業法人などに就職する雇用就農が増えたことも特徴。119人で前年度より38人増加し、全体の43%を占めた。

り巻く状況は厳しいが、農業産出額の拡大や新規就農を促進する施策を引き続き展開、新規就農者を育てる取り組みを支援し、新農林水産省元気で再生戦略に掲げる年間3000人の確保を目標としていく」と話した。

- 経営体数は減少傾向。また農業就業人口の7割は60歳以上。

一方で…

- ◎大規模農家（経営面積20ha以上and農産物販売高30M以上）は増加傾向。
- ◎新規就農者は年々増加しており、H27年度は過去最多となる見込み。

1. 山形県の農業

(2) 主要農産物生産量

生産量全国上位
の農産物多数!

(単位：t)

区分 (生産量順位)	25年	24年	23年	22年	21年
水稻 (全国4位)	415,300	403,500	392,200	406,500	401,500
りんご (全国4位)	46,500	45,000	30,800	43,700	53,500
西洋なし (全国1位)	17,200	14,300	16,600	17,100	21,800
もも (全国5位)	8,080	7,840	8,520	8,870	9,650
さくらんぼ (全国1位)	13,500	13,200	15,600	14,300	12,000
ぶどう (全国3位)	16,600	20,200	18,600	19,700	20,100

※出所：山形県勢要覧（平成27年刊）

※資料：東北農政局統計部「山形農林水産統計年報」

※資料：農水省「作物統計」

1. 山形県の農業

(3) 山形県の農業の課題

農業 = 山形県の基幹産業

1. 県内外への販売先の確保
2. 新規就農者の増加・後継者育成
3. 農業法人化・大規模化検討
4. 農商工連携・6次産業化検討

山形銀行が

農家のイノベーションをサポート

2. 農業への取組み ~アグリノベーションサポート~

営業支援部体制

地域振興推進室

成長ビジネスサポートG

☆担当分野：『**農業**』 『海外』 『再生可能エネルギー・企業進出』

⇒ 各分野に専担者を配置し、各種情報収集・事業化支援を実施

⇒ 各種セミナーや商談会等事業の側面支援も実施

法人G

事業承継M&A支援室

経済調査G

公務室

コンサルティングG

2. 農業への取組み ~アグリイノベーションサポート~

〈やまぎん〉は、ビジネスとしての農業の
実践をサポートし、「アグリビジネス」の創出を
積極的に行います。

〈やまぎん〉

アグリイノベーションサポートの
取組み



アグリイノベーションサポート
(農業革新支援)

- 平成22年度より本部に 農業の専担者を配置。6つの支援メニューを掲げ、農業と関連産業の支援を本格的に開始
- 『農業よろず相談所 in やまがた』の事務局を当行が務め、後継者育成・他産業連携、販路拡大等を支援
- アグリイノベーションサポートを本格開始して以降、農業者との取引は倍増

2. 農業への取組み ~アグリイノベーションサポート~

1

販路拡大サポート

農産物や加工食品などの販路を国内、海外に拡大したいという方に、商談の場を提供します。販売先の開拓や、消費者ニーズを把握する機会としてご活用ください。

国内で販路拡大したい

- 宮城・山形合同商談会/地方銀行フードセレクション
- アグリビジネス商談会（個別商談）
- ビジネスマッチング契約



宮城・山形合同商談会の様子

海外で販路拡大したい

- 海外商談会



香港美食商談会の様子

アグリビジネス商談会



宮城山形商談会



「やまがた」のおいしさを
県外・海外へ発信

地銀フードセレクション



香港美食商談会



2. 農業への取組み ~アグリノベーションサポート~

2

人材育成サポート

若手農業者の経営能力向上および人的ネットワークの拡大を目的に「若手農業者の会」を設立しました。意欲のある若手農業者の方を募集しています。

「若手農業者の会」とは・・・

設立目的 農業をビジネスとして実践するための、経営能力向上および人的ネットワークの拡大

対象者 40歳以下の農業経営者や後継者の方
※農業関連業者の方も加入できます。


活動内容 先進企業からの講演、先進地視察、ビジネスマナー研修、異業種交流、商談会への参加

申込方法 支店窓口でお申し込みできます。
主催：農業よろず相談所inやまがた
（事務局：山形銀行）
会員数：328名
（平成27年9月時点）



若手農業者の会の様子

若手農業者の会 「アグリビジネスカレッジ」



先進事例紹介・
社会人マナー知識の啓蒙




農業＋工業＋商業
＝ブランド力の強化

次世代を担う
農業後継者の育成



首都圏バイヤーとの
商談会機会の提供

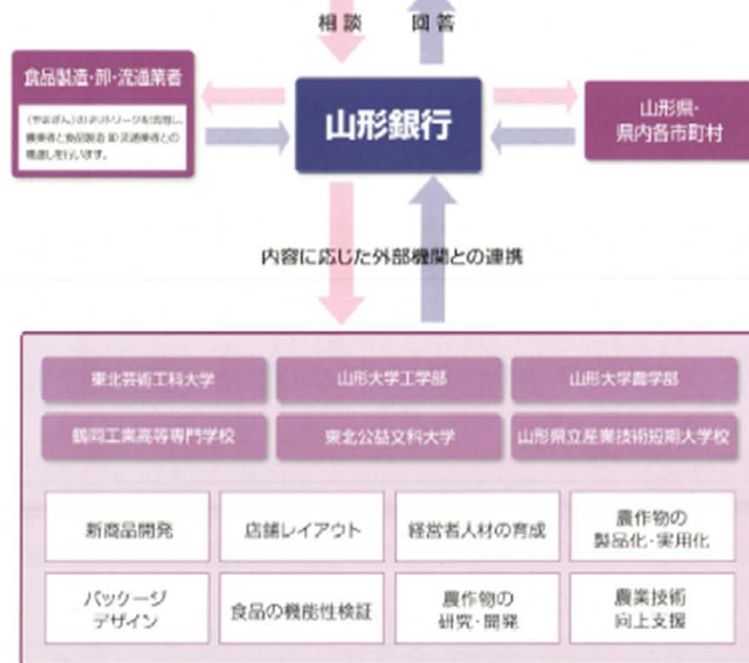


会員同士の情報交流
マッチング

2. 農業への取組み ~アグリイノベーションサポート~

3 産学官金連携サポート

新商品の開発や新たなビジネスモデルの展開を、大学、研究機関等の〈やまぎん〉のネットワークを活用してサポートします。



4 6次産業化サポート

〈やまぎん〉はお客さまの6次産業化を広域ネットワークを活用してサポートします。

【東北6次産業化サポートファンド】

農林漁業者と2次・3次産業者が価値的な連携により新たなビジネスを展開するサポートとして「東北6次産業化サポートファンド」を組成しました。共同出資によりファンドを組成することで、広域ネットワークの活用によるビジネスモデルの構築を促し、新商品・新市場・雇用の創出により農業の成長産業化と地域経済活性化を目指しています。

「6次産業化」とは・・・

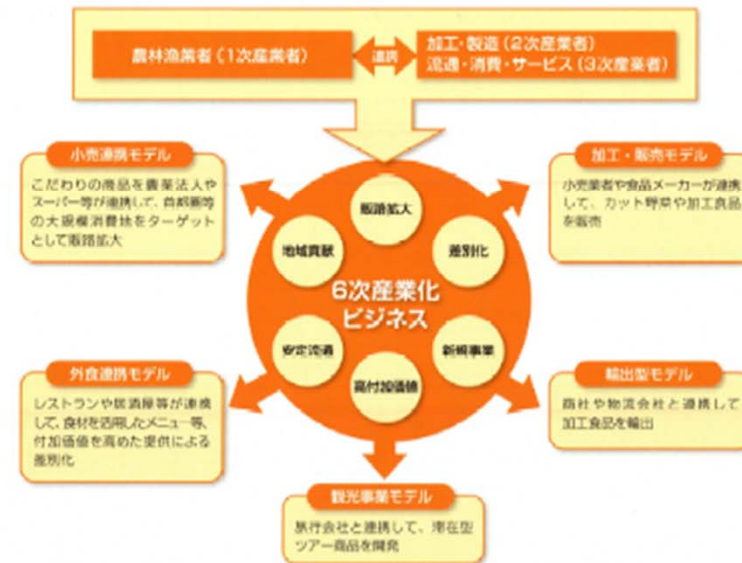
農林漁業生産から製造・加工・流通・販売（消費）を一体化して取り組むこと。
農林漁業者（1次産業者）と2次・3次産業者が連携して新たなビジネスを展開すること。

■ファンド内容

項目	内容
名称	東北6次産業化サポートファンド
出資者	当行・青森銀行・秋田銀行・岩手銀行 三菱東京UFJ銀行・三菱UFJキャピタル 農林漁業成長産業化支援機構
運営者	三菱UFJキャピタル
出資金	総額20億円
設立日	平成26年7月1日
投資期間	10年 ※ファンド存続期間15年
投資対象	農林漁業者と6次産業の事業者が連携し共同出資する6次産業化事業体

※ファンド詳細については支店窓口へご相談ください。

6次産業化のイメージ



2. 農業への取組み ~アグリノベーションサポート~

5

事業資金サポート

農業経営で発生するさまざまな資金調達ニーズに対応しています。

金融商品ラインナップ

安定した農業経営のために調達したい!

一般資金
山形県農業信用基金協会保証付

短期資金を調達したい!

やまぎんスーパーS資金
山形県農業信用基金協会保証付

農業を始めた!

やまぎん農家ローン
いぶき

動産担保で調達したい!

やまぎん
ABL

設備投資を行いたい!

農業近代化資金
山形県農業信用基金協会保証付

大規模な設備投資を行いたい!

スーパーL資金
日本政策金融公庫代理貸付

※商品詳細については、支店窓口でご確認ください。

平成18年 やまぎん農家ローン
「いぶき」取扱開始

⇒「農業よろず相談所inやまがた」連携商品

平成20年 山形県農業信用基金協会提携
「一般資金」「スーパーS資金」
「農業近代化資金」取扱開始

平成23年 日本政策金融公庫信用補完付
融資商品「めぐみ」取扱開始

平成27年 日本政策金融公庫業務提携

農業者の幅広い
ニーズに応えるため、
農業者を支援する
資金制度を拡充

	H22/3	H27/3
農業者貸出先数 (単位: 件)	204	396
農業残高 (単位: M)	1,630	3,045

5年で農業者との
取引は倍近くまで増加!

2. 農業への取組み ~アグリノベーションサポート~

6

課題解決サポート

「農業よろず相談所inやまがた」を通じて、「農」と「食」に関わる課題解決機能を提供しています。

「農業よろず相談所inやまがた」の支援内容

農業の法人化

栽培技術

農産物に関する情報提供

残留農薬・放射能検査

販路拡大

鮮度維持

ご相談の流れ

新規就農希望者
<個人・法人>

既存農業者

相談

農業よろず相談所 in やまがた

ホームページからのご相談

<http://www.yamagatabank.co.jp/nogyo/>

お電話でのご相談

023-623-1221 (総機ビジネスサポートグループ)

金融機関

青果物市場

農業資材調剤会社

農業機械会社

土壌・食品検査会社

保鮮技術会社

日本政策
金融公庫

山形県企業
振興公社

ジェイ・ロ山形

山形県国際
経済振興機構

山形県
農林水産部

やまがた
食産業クラスター
協議会

外部専門家・機関相談所先

山形県農業担い手支援センター

県農業会議
やまがた農業支援センター

地域センター

各総合支庁
(農業振興課)
農業技術普及課

アドバイザースタッフ

食品加工、小売店、旅館、
ホテル、酒造、花き市場
など

○目的

農業者の様々な経営課題に対してワンストップで解決するため平成18年1月設立

農業者からあがってくる悩みを以下の構成メンバーや県外郭団体等と連携し解決

構成メンバー

青果市場 ⇒ 販路拡大・栽培技術指導

農機具販社 ⇒ 法人化・規模拡大支援

肥料卸売会社 ⇒ 栽培技術・情報提供

環境分析会社 ⇒ 残留農薬検査

保鮮技術会社 ⇒ 輸送技術

金融機関(事務局) ⇒ 金融支援・各種支援

～ 最後 に ～

当行経営理念

地域とともに成長発展し
すべてのお客さまにご満足いただき
行員に安定と機会を与える



山形銀行は県内に本店・本部を置く唯一の銀行として
農業を含む地域産業の支援をとおして、
山形県の成長・発展に貢献してまいります。